



高松自動車道4車線化事業整備概要

みち、ひと…未来へ。



E11高松自動車道は、平成15年(2003年)3月の高松中央IC～高松西IC間の開通により、全線開通しました。これにより、連結する神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸中央自動車道および本州側の山陽自動車道とあいまって、瀬戸内海東側の循環型高速ネットワークを形成するとともに、関西圏および中国圏との交流を促進し、四国の活性化に寄与しています。

当事業区間は交通混雑期など交通集中による渋滞が発生しており、渋滞解消や安全性のさらなる向上、地域への貢献などを目的に4車線化事業を進めてまいりました。

このたび、鳴門IC～高松市境間の全線において4車線化事業が完成し、完成4車線で走行可能となりました。

- 道路名 : E11高松自動車道
- 事業区間 : 鳴門IC(徳島県鳴門市撫養町木津)～高松市境(香川県高松市前田東町)
- 完成日時 : 2019年3月8日(金曜日) 15時00分
- 事業延長 : 約51.8km (うち、工事実施延長 約40.7km)

◆完成区間の位置図

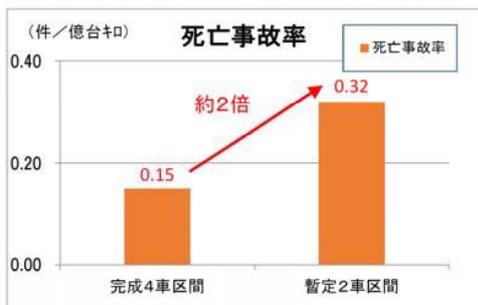


4車線化により、高速道路の安全性がさらに向上します

- ◆ 暫定2車線区間では、4車線化区間に比べ交通事故が発生した場合に、死亡事故となる割合や通行止めになる割合が高くなっております。
- ◆ 4車線化により、安全性のさらなる向上・道路の機能強化を図り、突発的な事象に起因する通行止めの減少が期待されます。

■ 暫定2車線と完成4車線における死亡事故及び通行止めの割合

《高松道における死亡事故となる割合》



割合: 総事故死亡件数/億台キロ (対象は高松道)
出典: NEXCO西日本調べ(集計対象:H24~H28 の総事故)

《交通事故発生時に通行止めとなる割合》



割合: 事故通行止め件数/総事故件数 (対象は高松道)
出典: NEXCO西日本調べ(集計対象:H24~H28 の総事故)

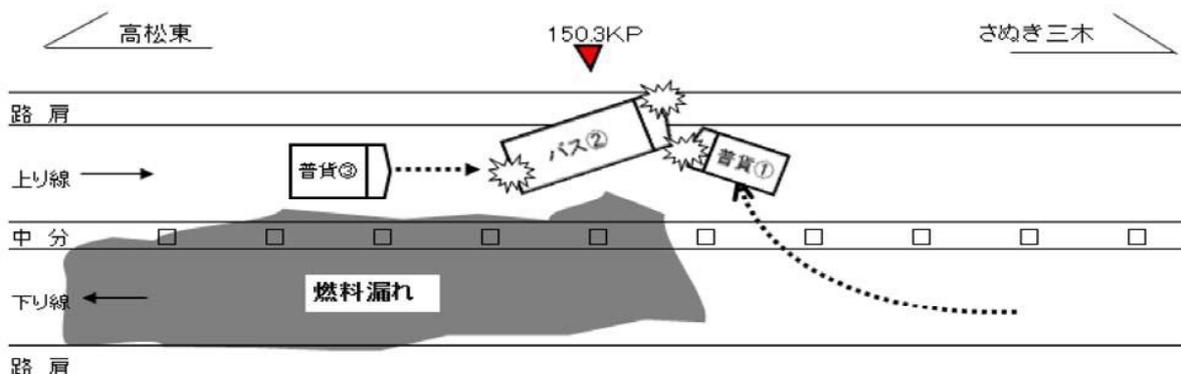
《事故事例》

発生日) 平成26年7月7日

発生場所) 高松道(さぬき三木~高松東)

通行止め) 延べ6時間21分(さぬき三木~高松東 上下線)

事故概要) 2t貨物車が路線バスと接触し、燃料漏れが発生したもの。



リダンダンシー機能の強化

4車線化による機能強化で、さらなる信頼性の向上が期待されます

- ◆ 今後発生が予想されている南海トラフ地震による津波により、一般国道11号やJR高徳線での浸水被害が予測されています。(最高津波水位:さぬき市3.8m、東かがわ市3.0m)
- ◆ 災害発生時には、高松道が自衛隊等緊急車両の通行確保及び一般国道11号等の代替路として機能するため、4車線化による機能強化により、更なる信頼性の向上が期待されています。

●南海トラフ地震の津波による浸水予測図



出典:(※) 香川県津波浸水予測図「香川県HP」H25.3.31 時点、
徳島県暫定津波浸水予測図「徳島県HP」H24.10時点
注)上記浸水予測図を基にNEXCOで作図。

四国おうぎ(扇)作戦(迅速な道路啓開)



出典:第3回四国道路啓開等協議会
「四国広域道路啓開計画概要版」を基に作成

**災害発生時、高松自動車道が
迅速な道路啓開に貢献!**

災害発生時の早期の交通確保事例(平成30年7月豪雨)

- ◆ 平成30年7月7日(土)未明、高知自動車道(新宮IC~大豊IC 上り線)において、高速道路区域外からの土砂崩落に伴い橋梁上部工が流出する事象が発生。
- ◆ 発生から概ね1週間後の平成30年7月13日(金)11時00分 下り線(残る2車線)を利用した対面通行規制により通行止めを解除。



定時性の向上による地域への貢献

4車線化による定時性のさらなる向上により水産物の流通を支援しています

- ◆ 香川県ではさぬきオリジナル「オリーブハマチ」の販売を促進しており、大阪府・京都市中央卸売市場における取扱量シェアは“平成26年以降第1位”となっています。
- ◆ 京阪神市場から鮮度を求められており、安定した輸送を行うため高速道路が利用されており4車線化による定時性のさらなる向上や道路の機能強化が期待されています。

●養殖はまち取扱高 産地別シェア(大阪府・京都市中央卸売市場)



香川県シェア1位!



高速道路を利用して
京阪神へ輸送

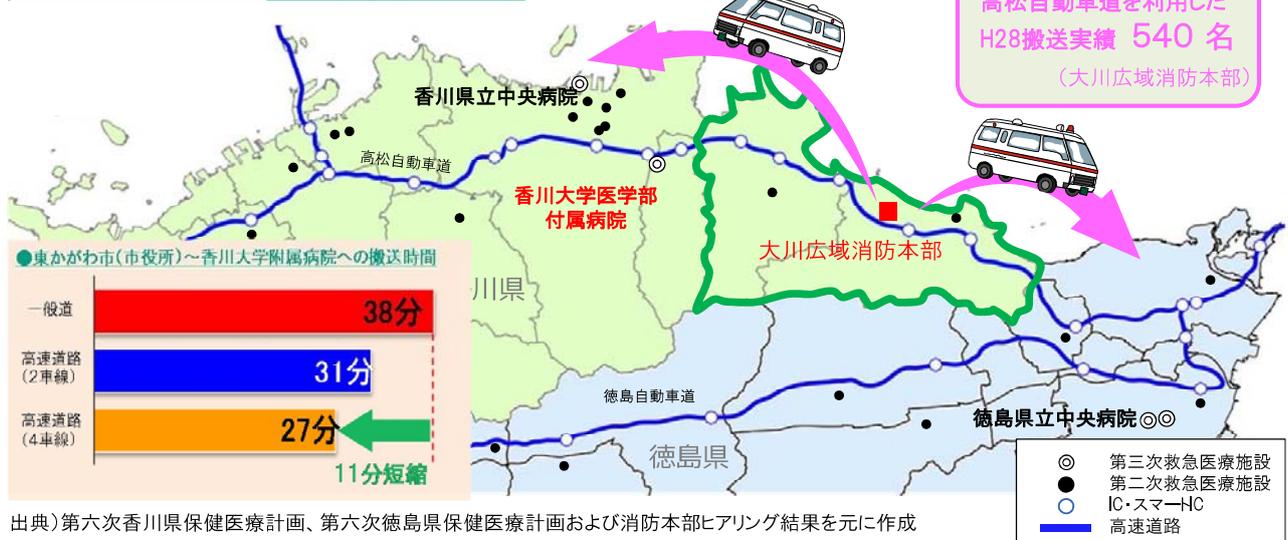
京阪神の市場のセリ、量販店の配送に間に合うように出荷しており、**安定した時間で輸送できるメリットは大きい。輸送時間の短縮は利点**です。(香川県水産課)



4車線化による搬送時間の短縮やさらなる定時性の確保が期待されます

- ◆ 大川広域消防本部では、必要に応じて高松市方面や徳島市方面へ高速道路を利用した管外搬送を実施しており、4車線化により搬送時間の短縮など安定した救急搬送が期待されています。

●高松自動車道を利用した救急搬送の実績



出典)第六次香川県保健医療計画、第六次徳島県保健医療計画および消防本部ヒアリング結果を元に作成

管外搬送時は主に高速道路を利用しています。高松方面においては、高速道路利用により約10分短縮となります。また、4車線化により追越走行が可能となります。(大川広域消防本部 警防課)

